

高めよう！防災意識

地球温暖化に伴う急激な気候変化・異常気象、地球規模で進行する環境問題に取り組むべく、令和3年12月17日に「みどり5つのゼロ宣言」を表明しました。

ここでは、あらゆる災害に備えた「災害に強いまちづくりの推進」と「市民の防災意識の向上」により、自然災害による死者「ゼロ」を目指すための取り組みを紹介します。

問い合わせ先 5つのゼロ宣言…生活環境課環境政策係 ☎ (76) 0985
防災・減災対策…危機管理課危機管理係 ☎ (76) 0960

自らの命は自ら守る

- 市が作成するハザードマップで危険箇所や指定避難所などを確認し、災害時における避難方法を家族で話し合っておきましょう。
- 保存食や飲料水などの非常用品を準備しましょう。
- 防災アプリ（みどり市防災ナビ）を活用しましょう。



自助

防災アプリ（みどり市防災ナビ）

- ①防災行政無線の放送内容を再生
- ②気象警報や避難指示の防災情報をプッシュ通知
- ③ハザードマップが表示され、現在の危険性を確認

【ダウンロード方法】

右の2次元コードよりダウンロードできます。



みどり市防災



※防災アプリの詳しい使い方については、来月号の広報みどりでお知らせします。

防災・減災対策は「自助」「共助」「公助」の3つの連携が不可欠です。

地域による助け合い



共助

災害発生時の被害を最小限にするために、自主防災組織を中心に地域住民がお互いに協力し、避難訓練の実施や避難所運営などの防災活動を行うことが大切です。

－自主防災組織とは？－

地域の皆さんが「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、自主的に防災活動に取り組む組織のことです。

各地域や市と連携して実施する防災訓練および防災資機材の整備などを通じて、地域の防災力の向上を図っています。



市と連携した防災訓練の様子

公助



災害に強いまちづくり

市では、災害時に迅速に対応できるよう、防災行政無線の設置や避難所の環境整備など、さまざまな取り組みを行っています。

防災講演会の開催

避難方法や災害時に備え、事前に準備すべきことなどについて学ぶことができます。

避難所の環境整備

- ・停電時でも使える空調設備（ガスヒートポンプエアコン）の整備
- ・非常用発電機・発電機の整備
- ・災害連携協定による電気自動車を活用した非常用電源の確保



防災行政無線